

第26回関西広域連合委員会の概要

平成24年10月22日
関西広域連合本部

○日時：平成24年10月21日（日） 15：40～17：00

○場所：リーガロイヤルNCB 2階 淀の間

○出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、松井委員、平井委員、門川委員、矢田委員、
山内副委員、齋藤副委員、田中副委員、田村副委員
協議1に関する説明：関西電力㈱香川取締役副社長

○議事概要

1 協議事項

① 今冬の電力需給状況等について

- ・関西電力㈱香川取締役副社長から、今冬の需給見通しについて無理なく継続できる節電等を織り込むことで節電目標を定めなくても4%程度の予備率を確保できることなどの説明があった。
- ・節電目標を設定せずに節電効果が確保できるのか、原子力発電所の新しい安全基準に基づく再審査により大飯原発を停止することも想定すべきではないか、節電効果や揚水など供給量の見通しについて疑問があるなどの意見があり、今後、国の電力需給検証委員会の検討状況を踏まえ、エネルギー検討会において需給見通しの検証を行い、節電目標の設定、節電の呼びかけ等の方向性をとりまとめることとした。
- ・原子力発電所に関する新しい安全基準に基づく再審査を速やかに行うべき、隣接地の自治体であってもUPZ30Km圏内であれば原子力安全協定を締結すべき、西日本の電力会社と自治体が一体となって電力融通を検討する枠組みを作るべきとの意見があり、政府への要望書を取りまとめることとした。

② 平成25年度予算要求の概要について

- ・今後、担当分野で精査の上、12月の広域連合委員会で取りまとめることとした。

③ 平成25年度国の予算編成等に対する提案について

- ・原案について最終確認の後、国に対し提出することとした。

④ 近畿圏危機発生時の相互応援に関する基本協定の締結等について

- ・防災連携体制を確立するため、広域連合と関西の府県及び政令市との間で基本協定を締結することについて、10月25日の近畿ブロック知事会議で協議することとした。

2 報告事項

① 広域医療局におけるドクターヘリ事業の取組み

- ・齋藤副委員から、10月から徳島県ドクターヘリの兵庫県淡路島への運航開始、ドクターヘリの愛称募集を行うことについて報告があった。

② 関西地域カワウ広域保護管理計画（案）

- ・嘉田委員から、カワウによる地域毎の被害量を減少させることなどを目標とした「関西地域カワウ広域保護管理計画」案をまとめたことについて報告があった。

③ 広域連合長選挙

- ・任期満了（12月3日）に伴う選挙を11月22日の広域連合委員会の場で行うことについて報告があった。

3 その他報告事項（資料添付のみ）

- ① 各分野事務局運営目標の中間報告
- ② 関西経済連合会との意見交換会